

宇部市地球温暖化対策ネットワーク設立10周年、誠におめでとうございます。これも中西代表をはじめ会員の皆様のご尽力の賜物と思います。

このネットワークは、平成14年9月に、京都議定書が発効されようとしている時に、この宇部市で誕生されたわけで、私は、当時の環境共生課に所属しており、設立のお手伝いをさせていただきました。

ネットワーク設立には、産・官・学・民のパートナーシップによって地球温暖化対策を進めていこうという趣旨に賛同された各界の方々の、強い思いがあってスタートできたものと考えています。

この産・官・学・民のパートナーシップという考え方は、宇部の発展を支えてきた「共存同栄・共同一致」の自治の精神であり、公害を克服してきた「宇部方式」を基本としたもので、地球温暖化対策も地域が一体となって、解決していこうということで設立されたものです。

当時は、現在のように地球温暖化対策といった言葉は、市民の中では、それほど浸透しておらず、宇部まつり、リサイクルフェアなどのイベントへの出展等による普及啓発活動や温暖化対策の研究活動など会員の皆様が手弁当で、試行錯誤しながら一歩ずつ進んでいかれるには、相当なご苦勞があったのではないのでしょうか。

その後も、フィフティ・フィフティ事業による環境教育や省エネ家電普及促進事業、E-サイクル事業、ソーラーマイレージクラブ事業など活動の幅を広げてこられてきました。

こうしたネットワークの先進的な活動は、東京足立区で開催された「環境サミット」や「環境首都を目指す自治体 全国フォーラム」などで、私どもも紹介をさせていただいてきたところであり、全国から、その活動は注目されてきました。

地球温暖化を取り巻く環境としては、この10年間で、東北大震災や福島原子力発電所事故など大きく情勢が変化してきていますが、地球温暖化が確実に、着実に進んでいることも事実ですので、是非、今後も、活動をさらにパワーアップされることを期待するとともに、宇部市地球温暖化対策ネットワーク及び会員の皆様のますますのご発展をお祈りいたします



2008年6月 常盤公園湖水ホール
地球温暖化防止キックオフイベント
宇部・山陽小野田・美祢地域連携によるストップザ温暖化！！

UNCCAの設立経緯を紹介する筆者